

# 令和元年度 学校自己評価書

小美玉市立小川南中学校 校長 久保田英行

## 1 今年度の取り組みの概要

- 1 教職員自らが人権尊重の理念を深く認識し、一人一人を大切にしたい学級経営を充実する。
- 2 日々の授業において学び合う授業を実践し、確かな学力の習得とそれらを活用する力を育てる。
- 3 「考え、議論する」道徳科の指導を工夫し、自分の生き方についての考えや自覚を深める。
- 4 特別活動を中心に生徒の自主的活動を推進し、主体的・創造的に活動する生徒の育成に努める。
- 5 お互いを認め、支え合う温かい人間関係づくりを基盤とした生徒指導の充実に努め、生徒の社会性を高める。
- 6 健康・安全に関する自己管理能力を育てる指導を充実させ、運動の習慣化が図れる体育的行事を工夫する。
- 7 学校・家庭・地域社会との連携を深め、「地域とともにある学校づくり」を推進し、より一層の信頼関係を築く。
- 8 服務規律の徹底を図るとともに、協働組織としての職場（チーム南中）づくりに努める。

<達成度 A：十分に達成 B：おおむね達成 C：達成せず D：課題が残る>

### ◎ 組織目標についての具体的な取り組み

組織目標 1		一人の気づきをつなぎ、広げる学び合う授業の実践		
達成目標	具体的な方策	実施結果	達成度	
1 確かな学力とそれらを活用する力の育成 ① 学力診断のためのテスト各教科平均正答率前年比プラス5点以上 ② 技能教科の「関心意欲態度」A評価の生徒6割以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力診断のためのテストや全国学力</li> <li>・学習状況調査等を生かした課題の把握と指導の工夫</li> <li>・学び合いの授業の積極的な推進と主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業研究</li> <li>・読解力を育てる読書活動の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学び合い」の指導方法について校内研修を継続して実施した。コの字型の机の配置を基本として、生徒は自分の考えをもち、周りの生徒と交流することができるようになってきている。</li> </ul>	B	
2 豊かな心と主体性を育む活動の充実 ① 「学校生活は楽しい」と回答する生徒8割以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権尊重の精神を教育活動の柱とし、一人一人のよさが発揮される学年・学級集団の育成</li> <li>・学年・学級経営の充実と生徒一人一人の居場所づくりの推進</li> <li>・生徒の主体性を育む学校行事や学年行事の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権尊重の精神を教育活動の柱とし、生徒一人一人のよさが発揮できる学年・学級経営ができた。</li> <li>① 「学校生活は楽しい」と感じている生徒が約95%であった。</li> </ul>	A	
3 健康や体力の保持増進と安全教育の充実 ① 体力テスト「A+B」55%以上 ② 虫歯なし生徒9割以上 ③ 朝食摂食100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動量を確保した体育学習の実践と運動の日常化</li> <li>・運動部活動及び特設部（陸上・駅伝）の充実</li> <li>・養護教諭や栄養教諭と連携した健康教育・安全教育・食育の推進</li> <li>・健康・安全に関する自己管理能力の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康安全に関する自己管理能力を育成するための様々な手立てを講じることができた。</li> <li>① 体力テスト「A+B」44%</li> <li>④ 虫歯なし生徒76.7%</li> <li>⑤ 朝食摂取率84.5%</li> </ul>	B	
4 活力ある学校づくりと開かれた学校づくり ① ホームページアップ数110回/年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営の参画意識を高め、学校課題の解決に真摯に取り組む集団の育成</li> <li>・信頼される教師集団をめざし、教育公務員としてのコンプライアンスの遵守〔3ない運動+3の徹底〕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信頼される教師集団をめざし教育公務員としてのコンプライアンスの遵守に努めた。</li> <li>① HP121回アップ（12月末）</li> </ul>	A	

②年2回の学校評議員会議・学校関係者評価委員会の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域とともにある学校づくり及び地域との連携強化</li> <li>・学校の課題を解決するため、PTAや学校支援ボランティア、関係機関との連携強化</li> </ul>	②学校評議員会、学校関係者評価委員会を開催し、学校運営についての外部評価を生かした。
----------------------------	---	--

## 2 今年度の成果と次年度に向けた課題

- 「一人の気付きをつなぎ、広げる学び合う授業の実践」組織目標を達成するために、「学び合い」の授業方法を中心に校内研修を実施した。校内研修では、授業公開しての相互参観と提案授業による研究協議を行い、小川南中としての生徒の学ぶ姿について研修してきた。
- 達成目標1の「確かな学力とそれらを活用する力の育成」  
校内研修で「学び合い」の指導方法について全職員が共通理解のもと取り組んだ。その結果、職員の授業に対する意識に変化がみられ、生徒の考えを交流する場面が増えた。さらに次年度は、生徒の学習意欲を高める課題設定と授業展開や生徒が主体的に深い学びにつながる対話的な授業への指導法が課題であり、より実践的な校内研修に取り組んでいきたい。
- 達成目標2の「豊かな心と主体性を育む活動の充実」  
生徒の居場所づくりを推進し、一人一人を大切に学級・学年経営に取り組むことができた。また、縦割り活動を通して、異学年間の発達段階に応じた価値観や考え方を交流することにより、学校全体でよりよい人間関係を築く基礎ができてきている。しかしながらSNS等により人間関係のトラブルを引き起こす事案やネットで知り合った知らない人にあつたことがあるとアンケートに答えた生徒が多いことなど心配なことがあるので、携帯・ネットの安全利用に向けての教育をさらに充実させていく必要がある。
- 達成目標3の「健康や体力の保持増進と安全教育の充実」  
学校教育全体を通して、健康安全に関する自己管理能力の育成に取り組んでいる。学校管理下における大きな事故怪我等は発生していない。しかし男子生徒の体力テストの結果は低下した。授業はもちろん、運動部活動やその他の取り組みを継続し、生徒の意識向上を図る必要がある。朝食摂食100%達成を目標に栄養教諭と連携しながら今後も取り組んでいく。
- 達成目標4の「活力ある学校づくりと開かれた学校づくり」  
学校からの情報発信や地域の人との関わりなど、「開かれた学校づくり」を進めることができた。保護者向けのアンケート結果からも学校の情報等がわかりやすいという結果であった。不登校生徒の解消は、本校にとって重要な課題である。それぞれの実態に応じた支援体制を全職員で共有し、ニーズに応じた取組を進めていくことが必要である。今後も小中連携を進め、「中1ギャップ」の解消に努め、なだらかな接続となるようにしていく。

## 3 保護者や地域への皆様へ

県内でも上位にあるような素晴らしい環境で学校生活を送っております。保護者・地域・各分野の関係者の皆様にご協力をいただきながら、生徒たちは学習や部活動に取り組んでおります。本校の学校教育目標「これからの時代を切り拓くたくましい生徒の育成」を達成するために、今年度は「一人の気付きをつなぎ、広げ学び合う授業の実践」を組織目標として掲げ、「チーム南中」として全職員で取り組んでおります。

さらに「人権尊重の精神を教育の柱とし、一人一人のよさが発揮される学校」「学級・学年経営が充実し、生徒の居場所がある学校」「明るく元気なあいさつのある学校」「季節感、清潔感、潤いのある学校」等をより具体的な生徒の姿や学校環境として捉えております。

学校公開日や体育祭、あしのみ祭（文化祭）など、生徒の真剣に学ぶ様子や主体的・創造的に活動する生徒の様子を直接ご覧いただける機会もございます。ぜひご来校いただき、皆様の生の声をお聞かせいただけましたら幸いです。本校の教育活動や生徒の様子や各種たよりについては、ホームページでも紹介・掲載しております。ご覧いただき、引き続き、本校の教育活動へのご理解、ご協力をお願いいたします。